

期末試験も終わり、帰国まで後数日となりました。ローズ・ハルマン工科大学での日程は終わりましたが、帰国後にある報告会の用意でまだ忙しい日が続きます。今回はローズ・ハルマン工科大学で受けた期末試験の様子、Winter Quarter で受講した履修科目の様子、派遣留学の感想について報告します。

・期末試験

ローズ・ハルマンでの期末試験の日程は通常授業と異なる時間割で行われます。期末試験週間での日程は次のようになっています。

1st 8:00 ~ 12:00

2nd 13:00 ~ 17:00

3rd 18:00 ~ 22:00

このように、学生は期末試験では4時間の回答時間が与えられます。終了した学生は提出後に退出できるのですが、科目によっては最後まで残っている学生もいます。期末試験の規則は科目によって異なり、教科書、コンピュータの持ち込み可などがあります。私が受けた科目では、教科書の持込は不可あるいは教科書の最後にある表だけは使用可で、数枚の Equation Sheet とコンピュータは持込が許可されていました。Equation Sheet というのは指定された紙の一面に自分が必要あるいは重要だと思える公式を書いた紙のことで、こちらで使用している教科書には例題が豊富にあるので、例題を見ながらできないようするためだと思われます。コンピュータでは Excel や Maple の使用が認められていました。私のコンピュータは Maple をインストールしていないので Excel だけの使用でした。期末試験の範囲はその科目で学んだことすべてが範囲です。こちらの期末試験を受けてみて、公式を覚えるより公式の使い方を学ぶことに重点を置いているように感じました。

・Winter Quarter での履修科目

1. RH131 Rhetoric and Composition

この科目では、文の書き方などを学びます。この科目では4回の Assignment の提出と個人での90秒ほどのプレゼンテーションが2度、チームでのプレゼンテーションが1度ありました。Assignment では、各回にテーマを与えられてそのテーマに沿って自分が何を書くかあるいは何について書くかを決め、Assignment で提示された単語数にあわせ、文章を書き提出します。Assignment では、最終提出前に Draft を一度提出し他のクラスメイトに見てもらい文法や表現のおかしなところがないかなどを見てもらう時間もあります。その後、クラスメイトに直してもらった点や注意された点を直し最終提出をします。個人での90秒ほどのプレゼンテーションは2回目と3回目の Assignment のテーマで自分が何について書くかを簡単に説明するためのものでした。チームでのプレゼンテーションでは、こちらで売られている雑誌を見ている人たちの評価でした。雑誌の内容からどのような年代、social class の人たちがその雑誌を見ているかを評価し発表するものでした。チームでのプレゼンテーションでは内容がうまくまとめられず、うまく発表ができなかったのが残念でした。

2. ES201 Conversation & Accounting Principles

この科目は工学の基礎科目です。質量やモーメント、エネルギー、エントロピーに関することを学びました。この科目では大体週に二回の課題提出と3回の定期試験、期末試験がありました。課題提出では一回につき2~4題ほどの問題を解きクラスが始まる前に提出という形でした。定期試験では1枚の Equation Sheet とコンピュータの持込が許可されていました。定期試験の内容は、範囲内で簡単な問題を4問ほどと高得点の問題が2問という内容でした。期末試験は in-class 形式で、講義で学んだ重要な公式を使用するものでした。Basic Conservation & Accounting Equations や Unit Conversions、Property Models、Thermophysical Property Data などが試験前に配られ Equation Sheet とあわせて試験を受けました。この科目で学んだことは本当に基礎でしたが、重要なことなの

で受けてよかったと思いました。

3. ME301 Thermodynamics II

この科目では、Vapor Power Cycle、Exergy やさまざまなサイクルに関する事など熱力学の応用的なことを学びました。大体週に2回の課題提出に、3回の定期試験、期末試験がありました。課題提出では、2~4問ほど問題を解き提出する機会が多く、定期試験では教科書の最後にある表の使用とコンピュータの持込、1枚の Equation Sheet の持込が許可されていました。期末試験ではコンピュータの持込と4枚の Equation Sheet の持込が許可されており、退出前には教授にその Equation sheet に不正がないか確認が行われていました。この科目では多くの学生が試験時間終了まで残っていました。私も残ってはいましたが、数問分からない問題があり全問しっかり書けなかったことが残念でした。

・派遣留学の感想

1. 学習面

今回の派遣留学では、主に工学の基礎と熱などのエネルギーに関する科目を履修しました。これらの科目ではすでに学んだこともありましたが、学んでいないことや英語で受けていることもあり、興味深い日々が続き、充実していたと思います。

講義でははじめは正直、教授の話は聞き取りにくく話から学ぶというより教科書、ホワイトボードに書かれたことや、配布された資料などで学んでいました。専門的な英語に慣れていなかったことでもあります。教授の言葉も早く、教授によっては読み取りにくい文字を使用していたりしていたので講義内容を理解するのに苦労しました。講義の後半では専門用語などを聞き取るのには慣れてきましたが、しっかりと聞き取れたという自信がなく、教科書や資料と照らし合わせながら学んでいくようになって行きました。試験や課題などでとても忙しい日が続きましたが、充実した日々が続きこちらに来てよかったと思います。それに英語で学ぶにはまだまだ英語能力が不十分なことが実感できよかったと思います。

2. 生活面

私が住んでいた寮は Skinner Hall という寮で4人部屋でした。寮生活は今まで経験したことがなく不安でした。身近に話せる人がいるということでは安心でしたが、正直苦痛と思ったほうが多かったと思います。今まで日本では、部屋に一人で寝ることが多かったのですが、こちらの寮では同じ部屋で寝る人がいるので慣れていない環境でもあり疲れたということや、課題などに集中ができないなどということもありました。後半にはだいぶ慣れてはきましたが、どちらかというとは一人暮らしのほうがいいと感じました。

秋学期が始まったころは、同じ寮の学生とスポーツをしたりして楽しかったのですが、授業が進むにつれて参加できなくなり残念でした。誘ってはくれたのですが、慣れない英語での課題などで手間取ってしまい思ったより時間がかかってしまうということもよくありました。時間があるときには同じ部屋の学生とボードゲームなどをして過ごし、このような時間を過ごせたことはよかったと思います。

他にも長期休暇中は友達の家にお世話になり、アメリカでの生活は十分楽しめたと思います。

アメリカでの学生生活も終わり、帰国も近づいています。この留学体験で感じたこと思ったことなどをこれからの人生で生かして行きたいと思っています。

最後に、派遣留学の研修から今までお世話になった方々に心より感謝を。

以上で今月の報告を終わります。